

4 - 6 乗用車保有台数の推計

(1) 乗用車保有台数推計の考え方

乗用車保有台数は、1人当り免許保有率を説明要因として推計された世帯当たり乗用車保有率に将来世帯数を乗じて推計を行う。

また、保有台数は乗用車分担率モデルを推計する際の説明要因となるため、都道府県別に推計する必要がある。そのため、都道府県別乗用車保有率モデルを構築し、都道府県別保有台数を推計した。

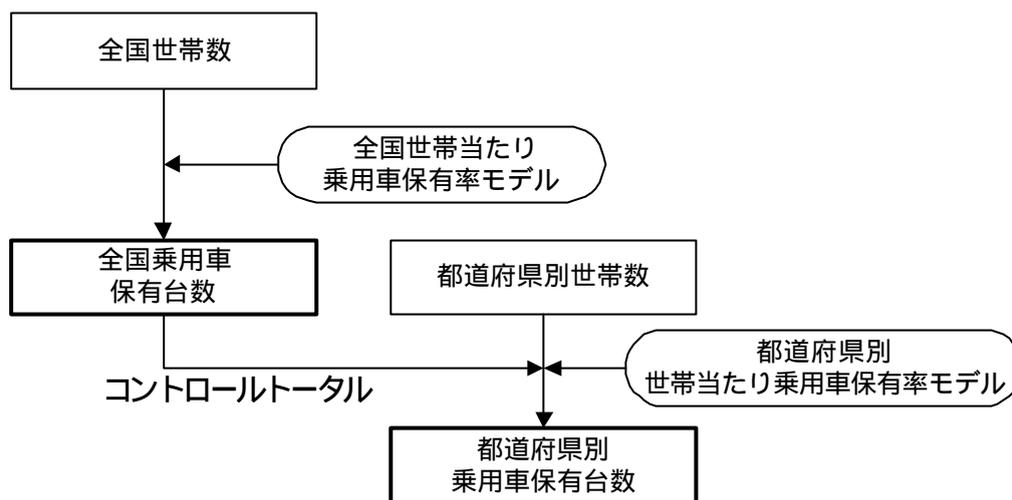


図 乗用車保有台数推計の考え方

(2) 乗用車保有率モデルの検討

全国の乗用車保有率モデルは、免許保有率に影響されると想定されるため、1人当りの免許保有率を説明変数の候補として、モデルを検討した。また、都道府県別保有台数は、所得やその地域の人口密度に影響されると想定されるため、世帯当たり所得や人口密度を説明変数の候補としてモデルを検討した。

1) 全国モデル

推計モデルの考え方

【 モデル式 】

$$Y_i = \alpha + \beta \cdot \ln(LPOP_i / POP_i)$$

- Y_i : 地域 i の世帯当たり保有台数
- $LPOP_i$: 地域 i の免許保有者数
- POP_i : 地域 i の人口
- i : 地域 i (東京都・大阪府、その他道府県)
- α, β : パラメータ

なお、モデルを構築する際、東京都、大阪府については、他の道府県と比較して保有特性が大きく異なるため、東京都・大阪府とその他道府県に地域を区分して推計モデルの検討を行った。